

Abstract of **JP 61-33636**

PURPOSE: To facilitate the maintenance of a threshing part. **CONSTITUTION:** This thresher is constructed by rocking, opening and closing a waste straw cutter for cutting and treating the waste straw after the threshing alone with a fulcrum (P1) as the center and simultaneously rocking, opening and closing a waste straw conveyor alone with the same fulcrum (P1) as that of the waste straw cutter as the center. A threshing feed chain and a transverse flow fan are constructed so as to rock, open and close with a fulcrum (P2) as the center.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-133636

(43) 公開日 平成6年(1994)5月17日

(51) Int.Cl.⁵

A 0 1 F 12/40

識別記号

3 0 2 Z

庁内整理番号

7196-2B

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 5 頁)

(21) 出願番号

特願平4-291293

(22) 出願日

平成4年(1992)10月29日

(71) 出願人

000000125

井関農機株式会社

愛媛県松山市馬木町700番地

(72) 発明者

山下 登清

愛媛県伊予郡砥部町八倉1番地 井関農機株式会社技術部内

(72) 発明者

渡辺 喜則

愛媛県伊予郡砥部町八倉1番地 井関農機株式会社技術部内

(72) 発明者

廣田 幹司

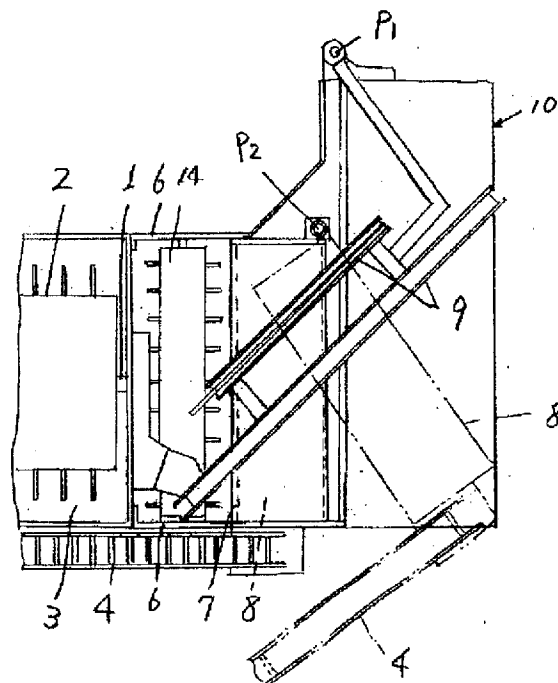
愛媛県伊予郡砥部町八倉1番地 井関農機株式会社技術部内

(54) 【発明の名称】 脱穀機

(57) 【要約】

【目的】 脱穀部のメンテナンスの容易化を図る。

【構成】 脱穀後の排ワラを切断処理する排ワラカッターは単独で支点 P_1 を中心として揺動開閉すると共に、排ワラ搬送装置は前記排ワラカッターと同一支点 P_1 を中心として単独で揺動開閉する構成とし、脱穀フイードチェンと横断流ファンは支点 P_2 を中心として揺動開閉する構成である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 次ぎの要件を具備してなる脱穀機。

①、脱穀後の排ワラを切断処理する排ワラカッターは単独で支点P₁を中心として揺動開閉する。

②、排ワラ搬送装置は単独で支点P₁を中心として揺動開閉する。

③、脱穀フィードチエンと横断流ファンは支点P₂を中心として揺動開閉する。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、脱穀機に関する。

【従来の技術】 従来の脱穀機においては、この出願の発明で云う上記②及び③の要件を具備する装置が存在しない。

【0002】

【発明が解決しようとする課題】 この発明は、上記②及び③の要件を具備する構成とすることにより、メンテナンスの容易化を図ることを目的とする。

【0003】

【課題を解決するための手段】 この発明は、次ぎの要件を具備してなる脱穀機の構成とする。

①、脱穀後の排ワラを切断処理する排ワラカッターは単独で支点P₁を中心として揺動開閉する。

②、排ワラ搬送装置は単独で支点P₁を中心として揺動開閉する。

③、脱穀フィードチエンと横断流ファンは支点P₂を中心として揺動開閉する。

【0004】

【作用】 扱室内を清掃するときは、扱胴カバーを上方に揺動開放させると共に、これに装着されている挟持レールは、該扱胴カバーとともに上動してフィードチエンより離脱されるから、フィードチエンを外側に開くことができる。この時、処理室もこのフィードチエンと共に外側へ揺動開放することができる。従って、このフィードチエンと処理室とを外側に揺動開放させると扱室の一侧面が大きく開放される。この開放された部分から扱室内の清掃が容易にでき、受網も簡単に引き抜くことができる。

【0005】 また、選別室内を清掃するときは、前記フィードチエンを外側に開いたのち、扱室を横外側方に揺動開放することができる。つまり、扱室は扱室内の扱胴と受網が一体となつて前端側の縦軸芯周りに揺動開閉することができる。従って、扱室を揺動開放した際には、選別部の上方が大きく開放されることになるので、選別部のメンテが容易となる。

【0006】

【発明の効果】 従って、本発明によれば、排ワラ搬送装置は単独で支点P₁を中心として揺動開閉し、脱穀フィードチエンと横断流ファンは支点P₂を中心として揺動開閉するものであるから、4番受け装置、扱室内及び選

別室内のメンテナンスが向上することになった。

【0007】

【実施例】 図例において、扱室3内には機体前後向き軸1芯周りに回転する扱胴2を架設してあり、扱室一侧にはフィードチエン4を張設すると共に、この上側に対設する挟持レールとによって穀稈を挟持搬送するように構成している。扱室3の少なくとも下半周部には受網5を張設している。また、扱室3後方の左右側板6、6間上方には4番回収受板7を装備してあり、この4番回収受板7の下方に横断流ファン8を、上方には排ワラ搬送装置9を装備している。排ワラ搬送装置9の終端部下方には排ワラを受入れて切断処理する排ワラカッター10を装備している。

【0008】 そして、かかる排ワラカッター10は、上下方向の支点軸P₁周りに揺動開閉可能に構成している。前記排ワラ搬送装置9は、排ワラカッター10と同一支点軸P₁を中心として単独で揺動開閉する構成としている。脱穀フィードチエン4と横断流ファン8は、4番回収受板7と共に上下方向の支点軸P₂を中心として揺動開閉するように構成している。

【0009】 なお、前記フィードチエン4の上側に対設される挟持レールは、開閉可能な扱胴カバー11と一体的に上下揺動開閉できる構成としている。扱室下方の選別室には、グレンバン12a、グレンシープ12b、ストローラック12c等からなる揺動選別装置12を装備している。13は唐箕である。前記ストローラック12cの上方には、直交処理胴14が装備されており、該ストローラック上の処理物を攪拌処理するように構成している。

【0010】

【別実施例1】 図4～図7に示す実施例について説明する。左右一対のクローラ式走行装置15を備えた機体上に、機体前後向き軸芯周りに回転する扱胴2を備えた脱穀部16を搭載してあると共に、その前方には圃場の植立穀稈を掻込むリール17・掻込まれた穀稈を刈取る刈取装置18・刈取後の穀稈を左右側に設けたスパイラーで横送りしたのち、中央側に設けた掻込フィンガーで後方に送り出すオーガドラム19・後方に送り出された穀稈を受継いで前記脱穀部16に搬送供給するフィードコンベア20等からなる刈取前処理部21を装備している。

【0011】 脱穀部16の上方には扱胴2を跨るようにしてグレンタンク22を装備し、後端側の横軸23を支点として扱胴カバー24と共に一体となって上下に揺動開閉し得るように構成している。25は穀粒取出し筒である。前記脱穀部16について説明すると、受網26は、左右二つに分割して26aと26bとし、前端側の左右一対の縦軸27、27周りにそれぞれ左右外側方へ揺動開閉し得るように構成している。

【0012】 扱胴2は、扱胴ケース28と共に前方の縦

3

支軸29を回動支点として左右横方向に揺動開閉するよう構成している。なお、図中、30は1番揚穀筒、31は拡散羽根である。

【0013】

【別実施例2】次ぎに図8～図9に示す実施例について説明する。図例は、穂刈り投入型コンバインの要部を示し、この投入型コンバインは、左右一対の走行装置15を備えた車体の前方に刈取前処理部32を、その後方に位置する車体上には脱穀部を搭載している。

【0014】前記刈取前処理部32は、立毛穀稈を左右に分草する複数の分草体33と、数条の立毛穀稈を立ち姿勢に引起しながら中央側に寄せ集めていく円錐型螺旋状引起し装置34と、引起された穀稈の穂先部側を切断する刈取装置35と、切断された穂先部を受樋36内に受け入れて後方に揺込む揺込装置37と、揺込まれた穂先部を受け入れて揚上搬送し後方の脱穀部に供給するフイードコンベア38等とからなる。そして、前記円錐型螺旋状引起し装置34は、平面視ハの字型に配設した左右の外側引起し装置34L、34Rと中央引起し装置34Cとからなるように構成してあると共に、外側引起し装置34L、34Rを急傾斜とし、中央引起し装置34Cを外側のそれよりも緩傾斜に構成して設け、それぞれ

4

にはガイド杆39を対設している。

【図面の簡単な説明】

【図1】脱穀機要部の一部破断平面図である。

【図2】同脱穀機要部の一部破断平面図である。

【図3】脱穀機の側断面図である。

【図4】コンバインの側面図である。

【図5】コンバイン要部の平面図である。

【図6】コンバイン要部の正面図である。

【図7】コンバイン要部の正断面図である。

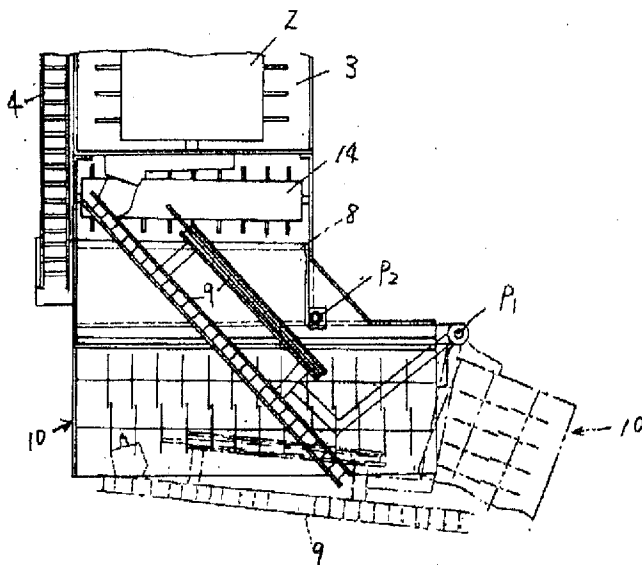
【図8】コンバイン要部の平面図である。

【図9】コンバイン要部の側面図である。

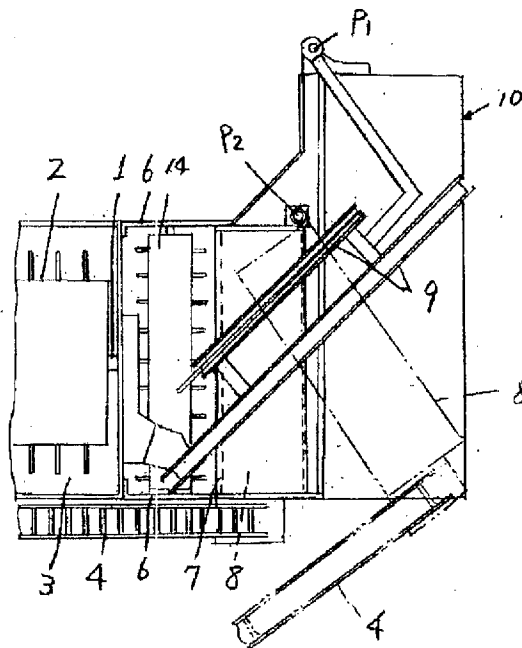
【符号の説明】

1	扱胴軸	2	扱胴
3	扱室	4	フイードチェン
5	受網	6	左右側板
7	4番回収受板	8	横断流フアン
9	排ワラ搬送装置	10	排ワラカッタ
11	扱胴カバー	12	揺動選別装置
13	唐箕	14	直交処理胴

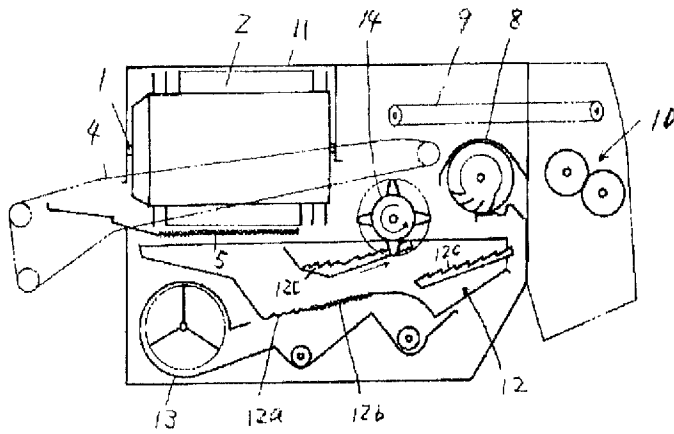
【図1】



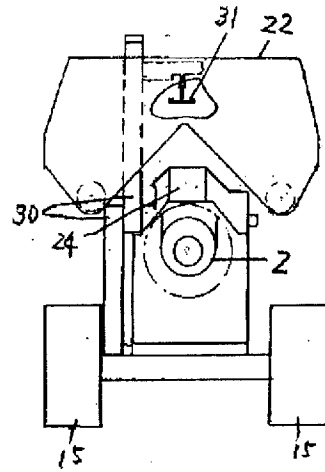
【図2】



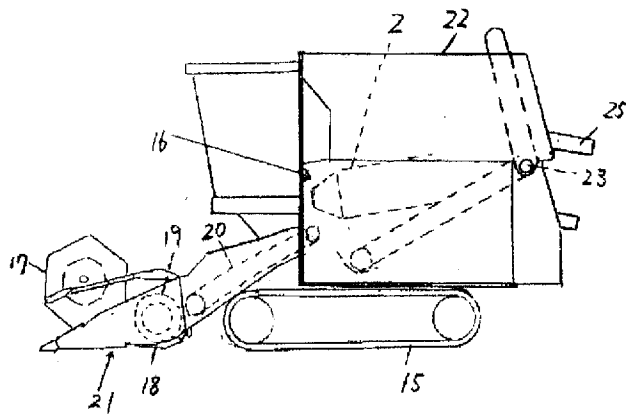
【図3】



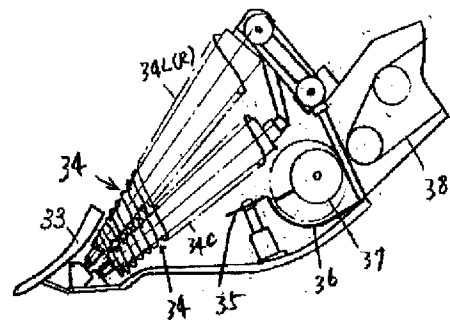
【図6】



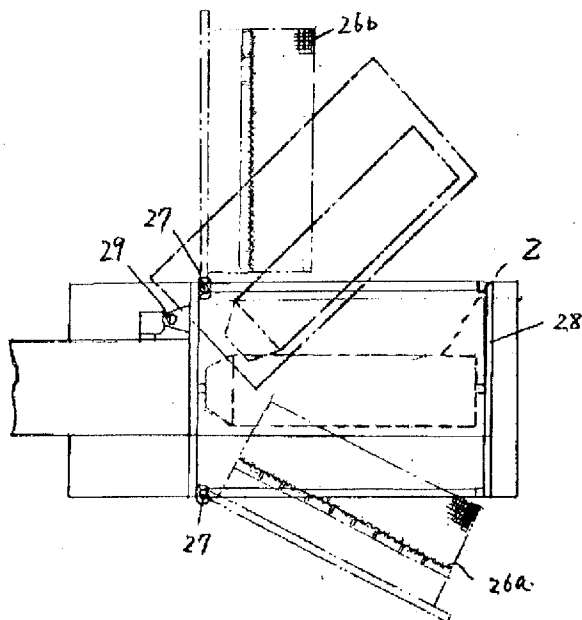
【図4】



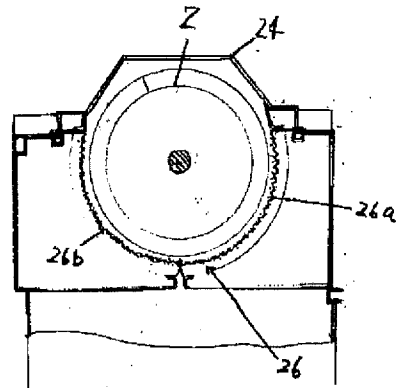
【図9】



【図5】



【図7】



【図8】

